

平成24年度 第1回宝塚市立図書館協議会 会議録

1 開催日時及び場所

平成24年8月30日(木) 午後2時～4時  
宝塚市立中央図書館 研修室

2 出席者

委員(7名)	梓委員、上野委員、浅野委員、黒田委員 柳委員、駒田委員、有山委員
事務局(11名)	社会教育部長(齋所部長) 中央図書館(坊館長、森副館長、藤野係長、永尾係長、 近藤係長、西川係長、栗井) 西図書館(西田館長、田野係長、花村係長)

3 傍聴者 なし

4 協議経過等

- [1] 委員委嘱辞令交付(有山委員、他1名欠席)
- [2] 開会あいさつ(社会教育部長)
- [3] 事務局職員紹介
- [4] 議事

(1) 平成23年度事業報告について

- ・平成24年度版 図書館年報(別冊)について  
(事務局より、ポイントを絞った形で説明)

(最近の動き)(P5～6)(以下、図書館年報のページを表示)

- ・平成23年度の内容としては、「サービス向上計画」の項目のうち、図書の返却ポイントの増設、中山台分室の開室時間の拡大、山本南分室の開設、コンピュータの更新のほか、図書の有料による郵送サービス、第1回読書講演会(講師高村薫)、「朗読CD」の貸出、ブックスタート事業を実施した。
- ・平成24年度には、4月に、図書館のPRのため、「花と緑のフェスティバル」の行事に移動図書館が参加し、インターネットと携帯サイトの検索・予約システムをカート方式に変更した。また、6月から、育児・介護による来館困難者への図書の無料郵送貸出サービスを開始した。

(図書館協議会) (P 9)

- ・協議会の役割としては、2つの役割があり、図書館法第14条で、「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対して意見を述べる機関」と規定されています。本市では、昭和55年の図書館の開設時から設置されており、現在9名の委員により構成されています。

(分室の開室時間) (P 12)

- ・中山台分室の現在の開室時間は、土曜・日曜日が午前10時30分～午後5時(午後0時～午後0時45分を除く)、月曜・木曜日が午後1時45分～午後5時となっております。平成23年4月から、「土曜日の午前中」と「日曜日の午後1時間」の開室時間の拡大を行なっています。
- ・山本南分室については、日・月・火・木・土曜日の週5日、午後0時30分～午後6時までの開室となっております。

(蔵書数) (P 13～14)

- ・蔵書数は、新たに開室した山本南分室の1万8,269冊を含めて平成23年度末で、62万1,222冊です。前年度と比較して、4万3,596冊の増となっています。なお、23年度は、国からの「住民生活に光をそそぐ交付金」事業で多くの図書の購入を行ないました。

(聖光文庫) (P 15)

- ・「聖光文庫」は、「清荒神清澄寺」のご厚意により、同寺境内にある「鉄斎美術館」の入館料で購入された美術関係図書の寄贈を受け、中央図書館の一室に設置されたもので、本市の特色だと認識しています。23年度に175点の寄贈があり、1万4,502点の蔵書となっています。

(利用券登録) (P 16)

- ・利用券登録については、本市の統計としては、「過去3年間に利用のあった登録者数」を基準としています。市内在住者が53,092人、阪神間の他市町(7市1町)の相互利用者が4,109人、その他宝塚市に在勤・在学者が212人、合計57,413人となっています。
- ・毎年、新たに利用券登録をする方が、5千人余あります。
- ・市民登録率(市民登録者数53,092人を人口227,030人で割った数値)は、23.4%(前年比0.6%増)ですが、長期の目標として、30%の登録率を目標としていきたいと考えております。なお、人口20万人台で、一人当たり貸出し冊数が15冊と一番多い茨木市の例を見ると、図書館が5館あり、登録率は約30%となっています。

(阪神間広域利用による貸出登録者数) (P 1 6)

- ・ 阪神間7市1町の住民は、協定により、相互に利用できる形になっております。  
宝塚市民22万人余のうち、合計44,002人(約20%)が、他の阪神間の市町図書館に登録しています。人口の約20%が他市町の図書館の利用登録をしているというのは、図書館数が少ない(2館2分室〔平成23年度〕)ことにも起因している面もあると思いますが、本市の大きな特徴だと認識しています。
- ・ 44,002人のうち、32,951人(75%)が川西市立図書館に登録しておりますが、これは、阪急清荒神駅よりも川西市立図書館のある阪急川西能勢口駅の方が便利な地域の市民が多く登録しているものと認識しています。
- ・ 一方、他市町の住民で宝塚市立図書館に利用登録しているのは、4,109人となっております。

(個人への貸出冊数) (P 1 7～1 8)

- ・ 個人への貸出冊数は、年間184万9,422冊(前年比3.2%増)となっておりますが、図書館別に見ますと、中央図書館が76万5,614冊(前年比6万7,363冊の減)に対して、西図書館が80万2,498冊(前年比2万3,990冊の増)で、西図書館のほうが3万6,884冊多くなっています。
- ・ なお、中央図書館が減になっている理由としては、新たに山本南分室ができたこと、及び、貸出期間2週間を延長する場合のカウントが機械処理上、中央図書館に一括計上されていましたが、平成23年6月のコンピュータシステム更新後は、各図書館・分室に計上されていること等によるものと認識しています。
- ・ 山本南分室の9ヶ月(7月開室)の利用実績は、中山台分室を上回っています。

(有料郵送貸出) (P 1 8)

- ・ 平成23年8月から制度を開始しましたが、利用実績としては、20件、47冊となっております。

(移動図書館) (P 1 9)

- ・ 「移動図書館」は、山本南分室の開室に伴い平成23年8月に1箇所(長尾南会館)減とし、現在25箇所のステーションを月2回(年間25回程度)巡回しております。なお、23年11月から「武庫山ふれあい公園」(武庫山2丁目)をステーションに追加しています。

(障がい者サービス) (P 2 3～2 5)

- ・ 「障がい者サービス」についてですが、登録者数は5名増の59名、利用件数は309件増の1,349件となっております。また、同サービスの相互貸借利用については、本市は、借受の方がはるかに多いのが現実です。

(予約数) (P 27)

- ・昨年度の予約冊数29万5,872冊のうち、18万3,141冊(62%)がインターネットによる予約になっています。また、窓口での予約も26%あります。

(相互協力) (P 28~29)

- ・宝塚市の図書館にない本については、他の図書館から借りて利用者に貸出を行なっています。また、宝塚市から他市の図書館に貸出すこともあります。

(利用者満足度調査) (P 37~39及び資料③「利用者アンケート調査結果」)

- ・平成24年3月(平成23年度)に行いました「利用者満足度調査」の集約結果において、「17.各館各々の総合評価の満足度」(「満足」と「やや満足」の合計)は、中央図書館が84%、西図書館が90%、中山台分室が79%、移動図書館車は95%であり、いずれも昨年と比較して満足度はあがっています。これは、「サービス向上計画」の項目について実施済の内容も反映しているものと思っています。新たに開室した山本南分室は76%となっていて、今後、利用時間等の検討も課題だと考えています。
- ・なお、「図書館として今後最優先で取り組む課題」の集約結果を見ますと、中央図書館・西図書館とも、「図書・資料の充実」、「開館時間の延長」、「中央・西図書館の休館日を違う曜日にする」の順になっています。

(資料①「前回協議会報告内容の確定分」及び資料②「住民生活に光をそそぐ交付金事業」)

- ・提出資料をもって報告とさせていただきます。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

〔議事(1)について〕

(委員)

- ・年報のP43「他市図書館との比較」の中で、市民一人当たり資料費が、阪神間と全国での比較で異なっていますが、説明してください。

(事務局)

- ・阪神間の数値は、予算は最新の平成24年度、貸出冊数は平成23年度の統計ですが、全国レベルの数値は、予算は平成23年度予算、貸出冊数は平成22年度の統計となっており、全国レベルの数値は阪神間の数値より1年前の形となっています。
- ・全国レベルの比較で、市民一人あたりの数値が高いのは、国の「住民生活に光をそそぐ交付金」事業の関連で、例年の倍額の予算が計上されたためです。

(委員)

- ・昨年度1年間の間に、さまざまな企画をされていますが、その中で、第1回読書講演会

で高村薫さんを講師として開催されましたが、私もお聞きして良かったと感じました。  
今後も継続して講演会を実施されるのでしょうか。

(事務局)

- ・今年度も開催したいと思っており、できれば読書週間に併せてできればいいと思っておりますが、時期、講師等も含めて現在調整中です。

(委員)

- ・利用者への満足度調査において、いろいろ改善されていて、満足度が上がっていますが、山本南分室の満足度が少し低いのではないかと。
- ・利用者からすれば、利用時間が延びれば良いと思うのではないかと。

(事務局)

- ・山本南分室の満足度が低いのは、場所的には便利なのですが、施設が狭く、更に開室時間が限られていることが原因ではないかと思っています。今後はサービス向上計画を見直す中で検討していきたい。

(委員)

- ・年報P34「子どもの読書活動推進計画」関連事業の中での、団体貸出の項目で、「小学校」と「学校図書館」の違いについて説明してください。

(事務局)

- ・「小学校」は、公立小学校の学級単位での貸出、「学校図書館」は、市内私立学校の学校単位での貸出として統計をとっています。

(2) 前回の協議会での委員から意見等について

(事務局) (説明) [資料④]

- ・前回の会議で各委員から7点について意見をいただいたと認識しており、各々の意見について、今後のあり方等をまとめております。
- ・開館時間延長については、これまでの試行結果等を踏まえて、一定の結論を出したいと考えています。
- ・選書基準、除籍基準については、現在、一般的なものはありますが、もう少し具体的なものが必要だと考えており、今後検討してまいります。
- ・重点事業のPRの必要性、備品類の計画的更新、学校図書館との連携・調べもの学習の支援、物流システム、職員の研鑽・意識改革等のご指摘も踏まえて、よりよい図書館づくりに努めてまいります。

(3) 利用者の意見等について

(事務局) (説明)

- ・「広聴カード」(資料⑤)では、山本南分室の開館時間について、午前中も利用できるよ  
うにというご要望と、中央図書館・西図書館の毎週水曜日の休館日を別にしてほしいと  
のご要望です。どちらのご要望も、今後検討すべき課題だと認識しております。
- ・中央図書館の利用者からの「御意見箱」(資料⑥)については、1月～6月の受付分17  
件分の回答です。詳細をご覧ください。

(4) 情報提供について

- ・情報提供につきまして、「広報たからづか」掲載分(資料⑦)と、「新聞記事等の関連記  
事」(資料⑧)を提出しております。詳細はご覧いただきたいと思ひます。

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明)

[議事(2)～(4)について]

(委員)

- ・閲覧用の椅子は軽くて動きやすいものにしてほしいと思う。
- ・開館時間等の関係が「広聴カード」での要望があがっていますが。

(事務局)

- ・山本南分室は、まずサービスの拠点として「開く」ことをまず考えましたが、次の段階  
として、利用時間の対応は大きな課題であると認識しています。開館時間の延長につい  
ても、8時まで、9時までとかいろいろな要望が出てきている。中央図書館と西図書館  
の開館日について要望が出てくるのも自然な形だと認識している。

(委員)

- ・近隣の事例で、伊丹市の新しい図書館で、取り入れて採用できる部分等がないか研究、  
検討はしてほしい。
- ・芦屋市では、駅前に分室をといる時に、市民が「ボランティア」で手伝うという事例も  
聞いています。図書館の専門的な部分でだれもがというわけにはいかないし、一定の研  
修は必要だとは思ひうが。

(委員)

- ・茨木市の図書館を視察した時に、市民の要望はいろいろあるとしても、開館時間につい  
ても市民がきちんと納得がいくように説明することが必要だという話を聞きましたので、  
その点を踏まえて検討されたい。
- ・今後のあり方等についての資料(資料④)の中の結論部分がわかりにくい面がある。  
もう少し結論部分等の記載について工夫が必要ではないかと思ひう。

(委員)

- ・他市と状況が違う部分などの説明も加えたほうがいいのではないかと思います。

(事務局)

- ・ご指摘はわかりました。今後、できるだけわかりやすい説明に努めます。

(5) 平成24年度事業について

(事務局) (説明)

(図書館サービス向上計画の実施状況等について)

- ・平成22年10月に、すべての市民が利用しやすい図書館サービスの提供を目指して、「図書館サービス向上計画」を策定し、できるものから順次取り組んでおります。

(ア) 開館時間延長試行(継続)の状況について(資料⑨)

- ・平成21年度より、6月～9月の土曜日、午後7時までの延長を試行しています。
- ・また、昼間就労者が利用できるよう、平成23年1月から、通年、金曜日、午後7時までの延長を試行しています。
- ・時間延長しているのは、一般開架室のみとしていますが、中央図書館の閲覧室は午後6時45分まで延長しています。
- ・土曜日の午後6時以降の入館者は、20名を下回っている月が多く、貸出人数、貸出冊数とも6時までの方が多い状況でした。
- ・金曜日の開館の利用状況は、午後6時以降の入館者は20名程度であり、午後6時以降の貸出人数、貸出冊数は、6時までの約半分となっています。
- ・6時以降の利用者について、金曜日と土曜日と比較すると、金曜日の方が、土曜日より多くなっています。
- ・今後、試行状況等を踏まえて、一定の方向を示す必要があると考えています。

(イ) 無料郵送貸出の拡充について(資料⑩)

- ・現在、「身体障害者手帳の交付を受けている方」、「長期間臥床し常に養護を要する方」で来館困難な場合、郵送貸出に要する費用を図書館の負担としていますが、平成24年6月2日から制度を拡充し、市内に住所を有する者で、「満1歳未満の乳児を養育する方」、「介護保険における要介護認定3以上の者を在宅介護する方」で来館困難な場合に対しても、図書館が郵送の費用を負担することとしました。貸出期間は3週間で、月1回5冊程度の発送としています。
- ・8月9日現在、育児による方12名、在宅介護による方2名の認定をしております。利用状況は7月が「育児」8件44冊、8月が「育児」9件48冊、「介護」1件3冊となっています。

- ・制度拡充に伴い、6月1日付けで、宝塚市図書館条例施行規則を改正しました。

(検索・予約等システムの更新、移動図書館車の行事等への参加について) (資料⑩)

- ・平成23年度のコンピューターシステムの更新に伴い、インターネットでパスワードの登録が可能になり、以前のように来館しなくてもよくなりました。また、子供向けホームページとして、「こどものページ」を開設しました。
- ・また、平成24年4月から予約もカート方式とし、一括予約が可能になりました。
- ・ホームページの内容については、誰もが利用しやすく、より便利なものを目指し、内容の充実を行ない、図書館活動を効果的にPRし、利用の促進を図っていきたいと考えています。
- ・移動図書館車の行事等への参加については、「図書館サービス向上計画」において、「イベント等への参加による図書館のPR活動」として位置づけられており、今年度は、移動図書館すみれ号が、4月22日に「花と緑のフェスティバル」に参加し、新規利用券の登録や図書の貸出し等を行いました。当日は雨天で来場者が少なく残念でしたが、すみれ号をPRする良い機会となりました。

(「宝塚市子どもの読書活動推進計画」の策定について) (資料⑪)

- ・現在の子ども読書活動推進計画が、平成20年度～24年度となっており、本年が最終年度となっており、これまでの検証等も踏まえ、平成25年度～29年度の5ヵ年計画に向けて、現在、策定作業を行っております。
- ・策定スケジュール、章立てについては、資料のとおりです。
- ・なお、委員の皆様には素案の集約後、時期的には次回協議会の時期にあわせて、ご意見を伺いたいと考えています。

(平成24年度9月補正予算〔案〕内示分について) (資料⑫)

- ・中央図書館では、鉄斎美術館より、「聖光文庫文化講座」を鉄斎美術館と市との共催で開催したいとの要請があり、必要な講師謝礼については、入館料の一部を市に寄付することとしたものです。12月2日(日)午後1時から中央図書館集会室で、講座を行う予定で、大阪大学総合学術博物館長の橋爪氏と兵庫県立近代美術館長の蓑氏に講演を依頼しています。
- ・兵庫県市町村振興協会から「図書整備支援事業交付金」が交付され、図書購入費として、中央図書館分として1,881千円、西図書館分として1,880千円計上しています。同交付金は、平成21年度から23年度の3カ年の交付とされていましたが、平成24年度から26年度まで期間延長されています。
- ・また、西図書館では、公益法人モラロジー研究所からの50千円の寄付金、公益信託宝塚視聴覚障害者援助基金からの100千円の寄付金により、それぞれ紙芝居舞台や障害者サービス備品を購入することとしています。

(「計画停電の対応」の周知について) (資料⑭)

- ・今年、夏の電力不足が叫ばれ、関西電力より計画停電実施時の計画表が発表されたことに伴い、図書館としての「計画停電の対応」を周知したところですが、現在の電力需給状況からすると、実施には至らない状況です。
- ・対応としては、コンピュータの停止により、貸出・検索・予約・インターネットは利用できなくなり、返却は本の受け取りのみ行なう形になります。  
なお、館内利用については照明、空調とも停止するため、健康上のこともありできるだけ退館いただくようお願いすることとしています。
- ・中央図書館が停電になれば、コンピュータの関係から、他の館を含めて、全館が影響を受けることとなります。

(6) 図書館サービス等についての意見交換等

(委員からの主な質問・意見等及び事務局からの説明) [議事(6)について]

(委員)

- ・前回の会議で、「CDの貸出」についても話がでていたと思いますが、その点はどうか。

(事務局)

- ・「音楽CD」については、約2,000タイトルの所蔵があり、利用者に貸出する場合、データ整理等の条件整備が必要であり、現在は、視聴覚室で聴いてもらっています。  
CDについては、著作権上の問題などはなく、利用者からの要望が高いことは承知しています。なお、「朗読CD」は、平成24年3月から貸出を開始しています。
- ・民間のレンタル業者も取扱っている部分でもあり、サービス向上計画の項目にあげているが、優先順位としては少し後ろにずらしているのが現状です。

(委員)

- ・小学校には、学校評価制度があり、学校側が評価したものを、地域や保護者が評価する制度です。図書室をきれいにして、子どもを本好きにするのが、図書ボランティアの役割であると認識していますが、評価制度の中では図書ボランティアは高い評価(A)となっています。市民のための公共図書館と学校図書館の連携の仕方を、これからも模索して充実していきたいと思う。
- ・本は夢を与えてくれるものであり、図書館ボランティアによって本好きな子が増えることをしていきたい。本好きな市民を作るのが図書館であるが、限られた予算の中で試行錯誤をされていて、充実した運営をされていると思っています。

(委員)

- ・学校から図書館まで近ければ、調べ学習にも来やすいという話が前回ありましたが、学

校図書館ボランティアのレベルアップについては、本来、学校教育の分野の仕事であるだろうが、社会教育との連携ということで、社会教育の支援により、養成講座が行なわれているものと思う。

(委員)

- ・いろいろ改善に取り組まれていることと思いますが、「ボランティア」の活用は、図書館事業の予算も限られているので、今後検討すべきことではないか。
- ・ボランティアをする人にとって、生きがいや人とのつながりが広がるものと思う。もちろん、スキルを身に付けることは一定必要だと思う。どの部分がボランティアが行なうことが可能かの検討はある。
- ・図書館の無料郵送貸出の資料（資料⑩）の中で、図書館職員やボランティアが配達することもあるとの記載がありますが、ボランティアでの対応も検討してほしい。無料郵送貸出の制度の利用者は、まだスタートしたところで少なくとも、制度として続けてほしい。サービスの一環として行なっている制度であることの広報が必要である。

(委員)

- ・だれもが等しく本を読めるという権利があり、育児・介護等の理由による無料郵送制度は、利用が少ないからやめるのではなく、利用が少なくてもつづけてほしいサービスもあると私も思う。
- ・制度の内容について、介護部門の施設等関連する所にも情報を提供する必要があると思う。福祉部門とつながりがある所への広報の工夫を検討されたい。

(委員)

- ・現在は、市広報、市議会報、社協だよりのほか、図書館の関係では、図書館だより、新着図書案内について、音訳がなされている。
- ・小説などについても対応できればと思うが、正確な読みが求められること、人手が足りないこともあって、現状では、対応できていない。音訳のボランティアグループの要員の確保は課題であると思う。グループの中では独自にスキルアップの研修は行っている。

(委員)

- ・資料の中の文章表現について、もう少しわかりやすい表現で記載してほしい。
- ・介護等の理由による無料郵送制度のPRについては、福祉の部門と連携が必要だと思う。
- ・館内の色々の掲示等について、利用者から見て、わかりにくい所がある。児童室の「子どもの利用は午後5時まで」の立て札の前にもものが並べてあって、見えなかったりする。また、カウンターの下部に貼ってある模造紙もきっちりとしてほしい。
- ・少しの注意でわかりやすくなると思う。PRや広報は重要であり、文字の大きさや色合いの工夫を考えてほしい。

(事務局)

- いろいろとご意見をいただき、ありがとうございます。
- 事務局の公聴カードの回答案等について、わかりにくい点があるとのこと指摘をいただきました。今後は、ご指摘を踏まえて、できるだけわかりやすい内容にしたいと思います。
- 利用者アンケートによると、今後優先して取り組むべき課題として、中央図書館と西図書館の毎週水曜日の休館日をずらすことがあがっていることは承知しています。利用者の利用する機会を増やすという観点で、検討していくべき課題だと認識しています。
- 開館時間延長についても、試行結果等を踏まえて、本格実施を考えたいと思いますが、委員のご意見も伺いたいと考えています。
- 子ども読書活動推進計画の策定作業を現在行なっておりますが、一定の案ができた段階で、委員のご意見を伺いたいと考えています。
- 今後、図書館にとっては、学校（図書館）との連携が一つの課題であると考えており、これが円滑に行えるよう御意見ご提案等いただけたらと思っております。

(7) 次回の開催について

(事務局)

- 次回の開催は、他市の図書館の視察を考えています。
- 今年度は、伊丹市の図書館が新たに建設されましたので、視察先としてはどうかと思っています。日程としては、市議会の日程等との関係もあり、10月中旬頃を想定しています。
- また、子ども読書活動推進計画の素案に対するご意見も合わせてお聞きしたいと考えています。

(委員長)

- 特に意見等はないようですので、事務局案で日程等詳細を調製することとします。

(8) その他

特になし。

5 閉会